

報告日 令和7年8月22日
報告回次 3日目

令和7年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	和泉市			代表者名	市長 辻 宏康
担当者部署(属性)	情シス担当	担当者部署名	市長公室政策企画室	連絡先電話番号	0725-99-8114
担当者役職	主事	担当者氏名	倉本 未樹	連絡先E-mail	
住所	594-8501 大阪府和泉市府中町二丁目7番5号				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署			
担当者氏名		連絡先電話番号		連絡先E-mail	

1-3. 支援を求める内容

支援方法	職員向け啓発・研修（単独）	事業名	市民・職員視点のDX推進
概要	DX推進のための機運醸成を目的とし、経営者層（部長級+CIO）をはじめ、各課課長級の管理職及び庁内各課から選出された「DX推進員」、福祉部局の職員に対して研修を実施していただきたい。		
支援を求める分野	人材（DX推進のための機運の醸成） 人材（DXに関する知識習得・研修・育成） 医療・介護・健康 行政手続オンライン化		

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	無				
	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和7年8月20日	支援・助言(実地)	9時15分	11時30分	
				活動時間（分）	135
2-2. 派遣場所	会場名	和泉市役所		最寄駅	JR阪和線 和泉府中駅
	所在地	大阪府和泉市府中町二丁目7番5号		最寄駅からの交通手段	徒歩

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	宮崎 昌美				
評価	大変良い				
上記評価の理由 （どのようなところがよかったか等詳細に）	アドバイザー自身の自治体職員としての経験や、これまでのアドバイザー業務の経験をもとに今後の事業の推進にあたって具体的な助言を得ることができた。これにより庁内での今後の事業の展開に関する動き方をイメージを具体化することができた。				
アドバイザーへの要望事項	無				

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	合計人数	6人	
	属性		企業・団体	その他(学生など)
	自治体職員	住民		
人数	6	0	0	0

4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点 （具体的に記入下さい）	今後の人口減少に伴い、職員数の減少も避けられない中、いかに業務を効率的に行うかを本格的に検討する必要があるが、現時点では、主に福祉部局を中心に日常業務に追われ、時間外業務等も多く発生しており、業務の見直し（BPR）を行うことができていないことが課題である。
支援により目指す成果 （具体的に記入下さい）	今回のアドバイザー派遣により、庁内のDX推進の機運醸成を行い、DX推進・業務効率化・BPR/DXの重要性を認識してもらうことで、職員にしかできないコア業務に注力できるように業務の見直し、DXを進める。

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	情報政策担当及び福祉企画担当との意見交換において、今後のDX推進、フルデジタル化の推進及びポイント活用の推進にあたって、具体的な進め方について助言をいただいた。	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	助言により今後の庁内での今後の事業の展開に関する動き方をイメージを具体化することができた。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない 参加メンバー間での今後の進め方や事業のあり方などについて具体的なイメージの共有を図ることができた。
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	特になし	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 講義ではなく、アドバイザーと市の意見交換会であったため。	
4-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	①予算は確保済みであり、年度内に推進する ・人事課と調整のうえデジタル人材育成・DX研修を実施中。 ・今年度中に福祉業務分野におけるDX/BPR計画を策定し、来年度から実装していくことで進めている。
4-4. 事業の最終的な目指す姿	全職員にDXを進めることの意義や重要性、必要性を理解してもらい、「Well-being」な状態になることを目指し、最終的には住民にとって「市役所に行かなくて良い」、行ったとしても「待たなくて良い」市役所を目指す。	

5.報告書についての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可		https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past-year-all-houkoku/
掲載許可	☐ 掲載可	
なおくその他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください		
6. 地域情報化アドバイザー支援の様子 今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG等)」を数枚程度貼り付けて下さい。		

